



美少女タイプのアンデスクイーン。性格も綺麗好きです

小島友実の あの馬の STORY



アンデスクイーン

競馬の格言の中に、条件替わりを狙え、というフレーズがあつますよね。西園厩舎に所属するアンデスクイーンは初ダートだった 당시「一戦目で8番人気ながら2着に好走。その後もダートを走り、昨年12月23日の阪神戦で嬉しい初勝利を手にしました。

「初めて見たのはこの馬が一歳の時。品があり、綺麗な馬だな」と印象でしたね。牝馬にしては筋肉量が豊富で体つきがしっかりしていましたよ」

「この振り返るのはアンデスクイーンを管理する西園調教師。昨年9月に栗東トレイルに入厩し、「調教で軽く走らせていました」とから、初戦は京都の芝1400メートル戦に出走しました。

「行き脚つかずの後方追走で、結果は16着。この一戦では適性がないとは言い切れませんが、まずは一つ勝たせないといけませんからね。ターテルボウル産駒はダートで走る傾向があるので、2戦目はダートに向かいました」

そしてこの選択が功を奏したことは冒頭で書いた通りです。

「この時に乗つてくれてした藤岡康太騎手が返し馬としてダートまで来た時に、この馬、ダート適性が凄く高い。走りがしっかりしてしまわ」と話してくれた上で、「それから少しだけなつて2着に来てくれました。スタートは一瞬だったものの、ハミを取らずに走りながらも良く、中団に付かれて2着に変わりましたね」

3戦目は12月3日の阪神ダート1400メートルの時も中団からのレースで、途中から外目を回り上がり、強いレースぶりで2着差の2着。その内容から西園調教師が「時計(1分25秒6)も優秀た

つたし、次は勝てるんじゃない」と期待を寄せました。

その言葉通り、「デビ」一戦で初勝利をゲット。それも、これまでとは違い先行して抜け出すレースを見せ、「一戦毎の成長を感じさせた内容。西園調教師は「藤岡騎手には積極的に前へ行つてくれと指示をして、その通りの競馬をしていました。今回も不良馬場と比べて時計を詰めてくれたし(1分24秒4)、良い内容の競馬だったと思ふ」と高評価でした。

昨年12月、西園厩舎に行ってアンデスクイーンに会つてきました。「デビ」「一戦目からこの馬を担当している駒崎太一持ち乗つ調教助手に普段の様子など伺いました。

「基本的に馬房では大人しくて扱いや切れませんが、あとは一つ勝たせないといけませんからね。ターテルボウル産駒はダートで走る傾向があるので、2戦目はダートに向かいました」

そしてこの選択が功を奏したことは冒頭で書いた通りです。

「この時に乗つてくれてした藤岡康太騎手が返し馬としてダートまで来た時に、

この馬、ダート適性が凄く高い。走りがしっかりしてしまわ」と話してくれた上で、「それから少しだけなつて2着に来てくれました。スタートは一瞬だったものの、ハミを取らずに走りながらも良く、中団に付かれて2着に変わりましたね」

3戦目は1月22日の京都ダート1400メートルの時も中団からのレースで、途中から外目を回り上がり、強いレースぶりで2着差の2着。その内容から西園調教師が「時計(1分25秒6)も優秀た

つたし、次は勝てるんじゃない」と期待を寄せました。



西園調教師から青草をもらって幸せそうなアンデスちゃん

「勝った後も順調で、厩舎に調整を続

みました」

レース経験を積みながら確実にアドバイスしてくるアンデスクイーン。その馬名通り、大レースを勝つ輝かしい歴史などを伺いました。

profile

グリーンチャンネル「トラックマンTV」(毎週金曜19:00~20:30)、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンには馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。